

第一三共グループ価値創造モデルにおける 最重要資本「人的資本」

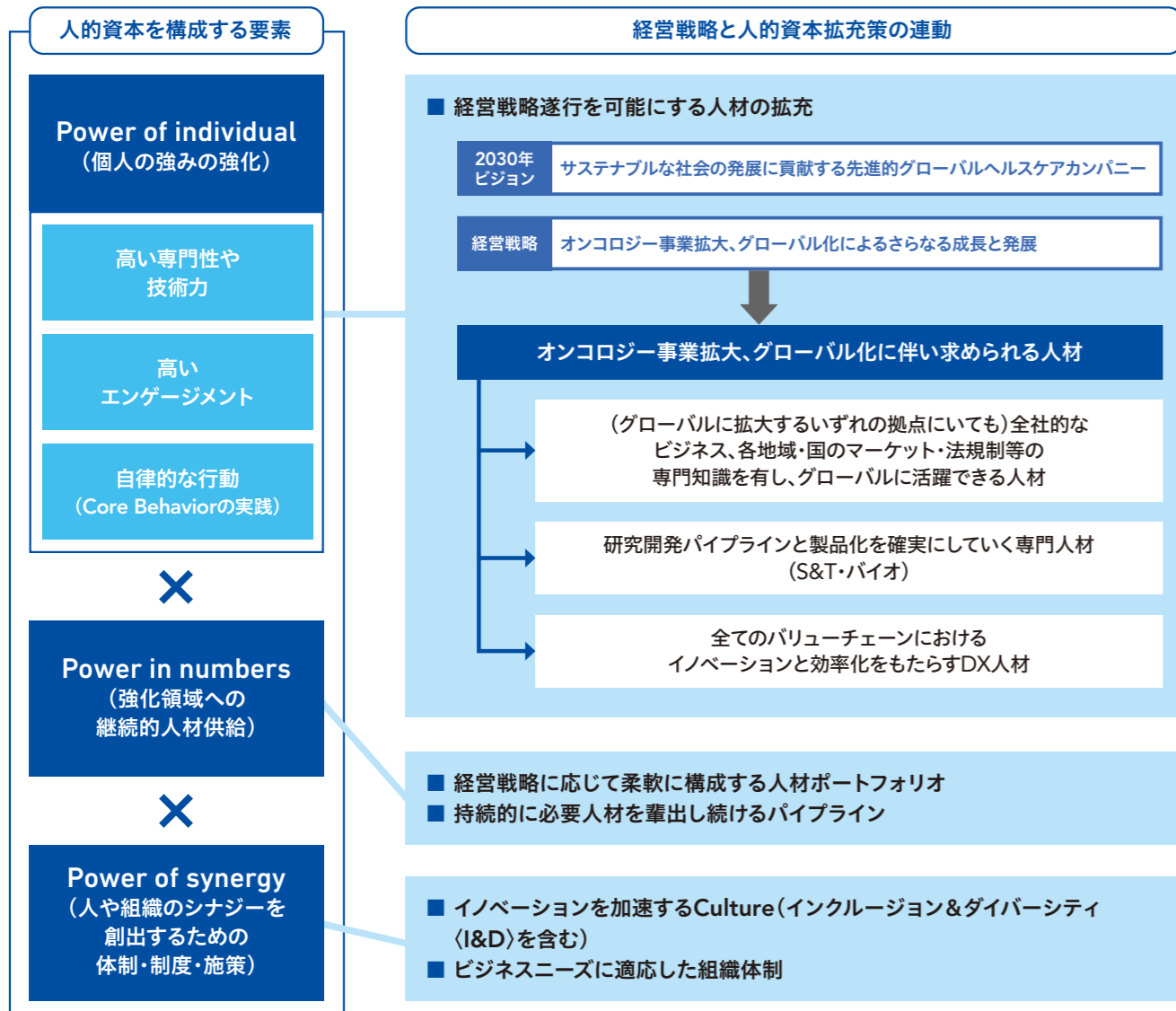
第一三共グループの人的資本は、当社グループのサイエンス&テクノロジー(S&T)を活かしたビジネスモデルを展開し、持続的に価値を創造していくための原動力です。ここでは、人材への取り組みを通じて人的資本の価値を高め、経営戦略の実現性を高めていく当社グループの「人的資本経営」について、ご紹介します。

人的資本への考え方

第一三共グループは、「人」を最重要な「資産」として位置づけ、バリューチェーンの各領域における人材の活躍推進と育成により、社員と会社の相互の持続的な成長を目指しています。全ての事業活動は人材によって支えられており、グローバルな事業展開において多様な人材を獲得し、効果的な人材マネジメントを行うことが競争力の源泉であると考えて

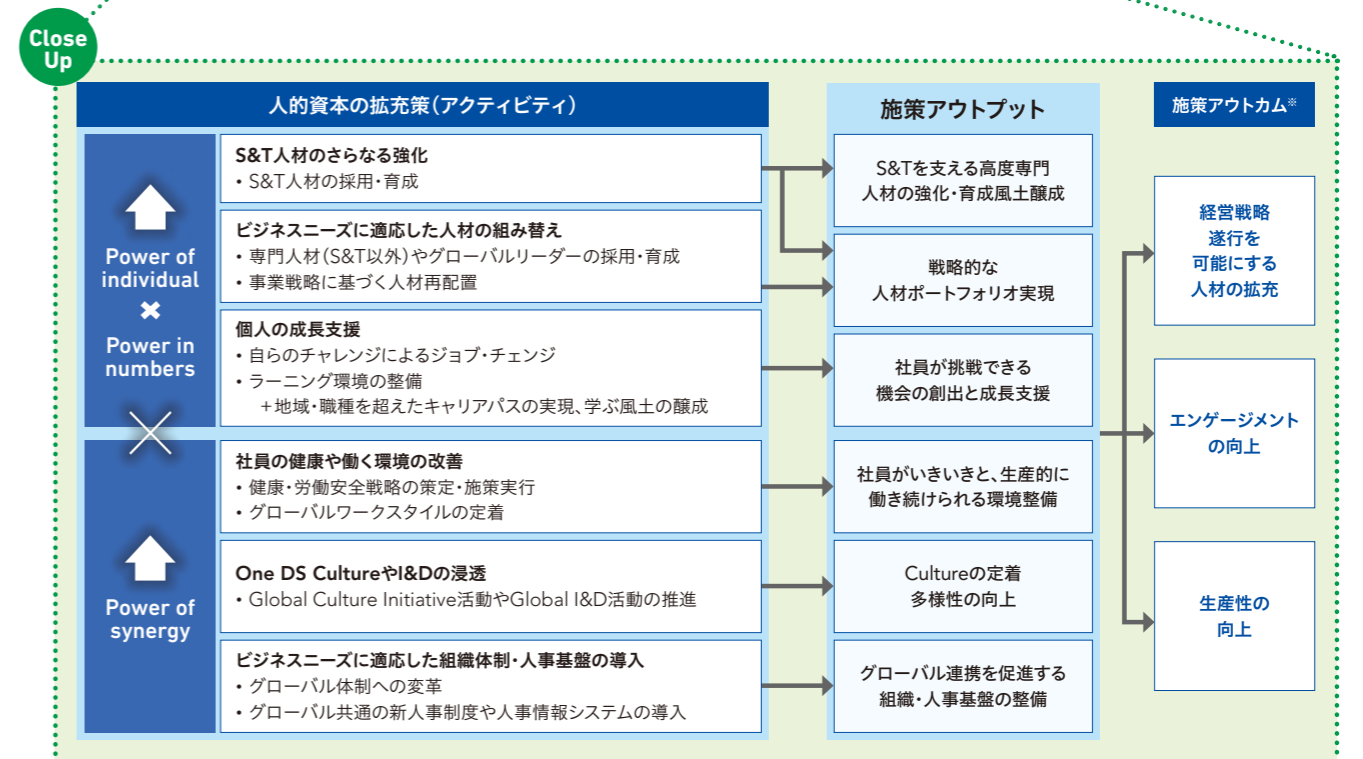
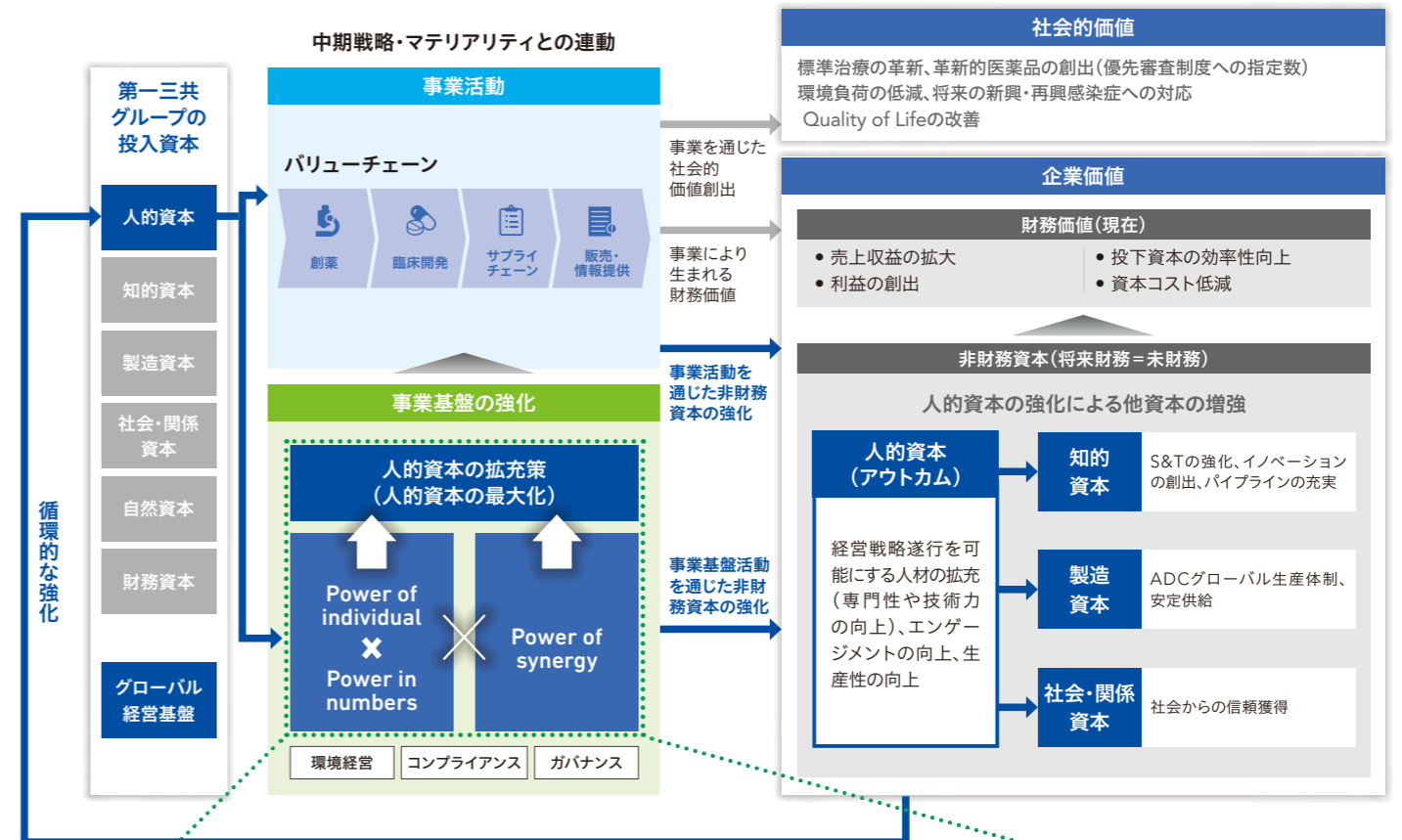
います。

また、当社グループにおける「人的資本」として、成長し続ける「個人の強みの強化」と、「強化領域への継続的人材供給」、そして「人や組織のシナジーを創出するための体制・制度・施策」の3つの要素を掛け合わせたものと定義しています。



人的資本経営のサイクル

第一三共グループの人的資本経営は、持続的な価値創造・拡大を実現するために、人的資本を最大化し事業基盤を強化することで、当社資本を事業活動へと投入していく一連のマネジメントサイクルです。



※ 人的資本のアウトカムは、その他非財務資本の増強につながることも、それらの資本を用いた企業活動の結果、財務価値が創出される